



3年生が、見学の発表の中で、「これは、10合を測る1升枡です。」と、**1合枡から1斗ます**まで紹介してくれました。実物の枡を見せながらの紹介だったので、量を実感しやすかったです。昔は、農家側の言葉が生活すべてに浸透し、合、升、斗を全ての人が理解していましたが、今は生活者側の言葉が中心となってきています。もうすぐ、白米1合という言葉は消えて150gとみんなが言うようになるのでしょうか。

3年生が、上三草地区にある武家屋敷を見学したことを発表してくれました。家の造りや、道具などから昔のくらしを調べ、今のくらしとの比較もしてくれました。みんなの“より便利に”との願いからくらしは工夫され変化し、きっと今のくらしも変化を続けるのだらうと、しっかりとまとめていました。

その通りだと思います。便利、楽（らく）の前にはすべての理由は後ずさりをし、その言葉がくらしや社会の真ん中を進んでいくのでしょうか。そして、あらゆるものを変化させていくのでしょうか。さて、ここからが、先週号でもお話した“年老いた者がする話”になってしまうのですが、便利、楽だけで**変えてはいけないもの**もあると思ってしまうのです。

まだまだ寒い朝ですが、外でたくさん子どもたちが遊んでいます。そこに、若い教師も加わっています。あえて、若い教師と書いたのは、そうでなければいけないという思いからです。子どもと遊ぶことは、もちろん仕事としての使命感もありますが、やはり若いときは楽しいのです。それは、歳をとるにつれてだんだんと薄れていきます。残念ながら仕方がないことです。だから、ベテランは遊びの大切さを十分理解したうえで、遊び方・遊ばせ方を工夫しながら子どもたちを楽しませたり、若手にはできない工夫をして子どもたちとの繋がりを作ったりしています。若手は、そこではかなわないのですから、また、楽しいのですから遊ばなくてははいけません。若手は、ベテランの工夫を、見て、聞いて身につけていきます。だから、学校には若手もベテランも必要なのです。

話がややこしくなりましたが、便利、楽、工夫、変わることに、変えてはいけないものの関係はややこしいものです。でも、子どもたちが、寒くても暑くても、みんな一緒に遊ぶことは、決してなくしてはいけないことだと思います。



6年生が、模擬選挙の学習を通して市からいただくことになった「マジックナイン」を、実演で紹介しています。



職員が、日本人大活躍の**ピョンチャンオリンピック**を通して、メダル獲得にも負けないくらい大切なものがあることを伝えてくれました。

<3月の予定>

- 1日（木）登校指導、ひと声運動
- 2日（金）6年生ありがとうの会、PTA懇親会
- 5日（月）集会、身体測定、お話し会ありがとうの会
- 6日（火）貯金日、身体測定、6年謝恩会
- 7日（水）地区児童会、班長引き継ぎ会
- 9日（金）卒業お祝い給食、学校評議員会
- 10日（土）中学制服販売（体育館）
- 12日（月）朝会

13日（火）代表委員会

14日（水）集金日、卒業式予行

15日（木）登校指導

19日（月）朝会

20日（火）1・2・3・6年12：45下校、
4・5年15：00下校

22日（木）卒業式

23日（金）修了式

28日（水）保・幼・小連絡会

